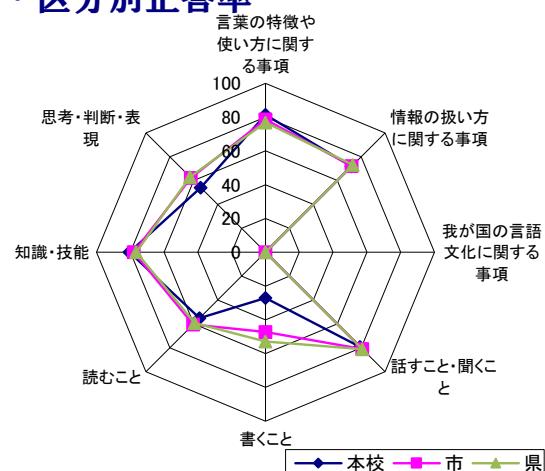


宇都宮市立豊郷南小学校 第4学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	81.4	78.6	76.9
	情報の扱い方に関する事項	72.0	72.2	73.1
	我が国の言語文化に関する事項	0.0	0.0	0.0
	話すこと・聞くこと	79.2	81.0	81.1
	書くこと	27.1	47.2	52.8
	読むこと	55.1	60.5	59.3
観点	知識・技能	80.5	78.0	76.5
	思考・判断・表現	54.2	62.3	63.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 領域の正答率は、81.4%で県、市の平均と同程度である。 「第3学年に配当されている漢字を正しく書くことができる」問題は、91.6%で、市の平均より17ポイント上回っている。 「文の中における主語と述語を捉えることができる」問題では、市の正答率を5.7ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んだり書いたりするときに主語と述語を捉えられるように指導し、定着を図る。既習内容の学習の復習を取り入れながら、授業を行っていきたい。
情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 領域の正答率は、72.0%と県、市の正答率と同程度である。 「国語辞典の使い方を理解し、使うことができる」問題は72%で市の正答率と同程度である。 	<ul style="list-style-type: none"> わからない言葉があった際、教科にかかわらずすぐに国語辞典をひくことのできる環境を整え、国語辞典の使い方をより一層身に付けさせていく。
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 領域の正答率は、79.2%で県、市の平均より低い。 「司会の役割を果たしながら話し合い、参加者の発言を基に、考えをまとめることができる」問題は、74.8%で、市の正答率を3.9ポイント上回っている。 「相手に伝わるように自分の考えを、理由を挙げながら話すことができる」問題は、74.8%で、市 	<ul style="list-style-type: none"> 授業において意見を出す際には、自分の考えが相手に伝わるよう理由を挙げて発言させるようにする。またその際、自信をもって発言できるよう、発表の仕方の型を示しておく。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 領域の正答率は、27.1%で県、市の平均より低い。 「指定された長さで文章を書くことができる」問題は、30.8%で、市の正答率を21.2ポイント下回っている。 4つの条件を満たして「書くこと」の問題では、33.6%の児童が無回答である。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での振り返りや自分の考えを書く際には、ひな形を提示し、指定された長さで文章を書く練習を行い、段階を追って文章を書く力を身に付けられるようにする。 すべての問題に解答できるように、時間配分を考えた問題の取り組み方を指導していく。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 領域の正答率は、55.1%で、市の平均より低い。 「叙述を基に文章の内容を捉えることができる」問題は、54.2%で、市の正答率を3.7ポイント上回っている。 「情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約することができる」問題は、35.5%で、市の正答率を11.6ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文の単元等で、中心となる語や文を見付けて、線を引きながら読む練習を行い、段階を追って文章を読む力を身に付けられるようにする。